



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東  
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)宮島 和美  
 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)島田 和幸  
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	71,674	5.4	△440	—	△331	—	4,001	334.2
28年3月期第3四半期	67,986	16.7	1,382	△31.0	1,532	△30.1	921	△45.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,838百万円(323.2%) 28年3月期第3四半期 907百万円(△46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	63.73	62.95
28年3月期第3四半期	14.61	14.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	83,303	71,078	84.4
28年3月期	83,767	69,639	82.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 70,302百万円 28年3月期 68,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年3月期	—	29.00	—		
29年3月期(予想)				29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

平成29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	9.0	3,000	149.1	3,100	118.0	6,200	—	99.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	65,176,600株	28年3月期	65,176,600株
29年3月期3Q	2,213,705株	28年3月期	2,553,377株
29年3月期3Q	62,784,910株	28年3月期3Q	63,059,548株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用情勢が続いたものの、消費者の節約志向の高まりを背景に消費者物価が低下傾向となるなど、国内の消費環境は力強さを欠く展開となりました。

このような状況の中、当企業集団は中期経営計画(平成28年3月期～平成30年3月期)の方針のもと、前期に引き続き戦略的な広告投資を実施したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は全事業が増収となり、全体では71,674百万円(前年同期比5.4%増)となりました。増収により売上総利益が増加したものの、お客様基盤の拡大のために先行的な広告投資を実施したことなどにより販売費及び一般管理費が増加し、営業損失は440百万円(前年同期は1,382百万円の営業利益)、経常損失は331百万円(前年同期は1,532百万円の経常利益)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益を計上したため、4,001百万円(前年同期比334.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は42,228百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

	平成28年3月期 前第3四半期連結累計期間		平成29年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	33,244	80.7	33,240	78.7	△0.0
アテニア化粧品	5,697	13.8	6,748	16.0	18.5
boscia(ボウシャ)	1,513	3.7	1,587	3.8	4.9
その他	746	1.8	651	1.5	△12.7
合計	41,200	100.0	42,228	100.0	2.5

	平成28年3月期 前第3四半期連結累計期間		平成29年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	17,952	43.6	18,826	44.6	4.9
店舗販売	15,227	36.9	14,862	35.2	△2.4
卸販売他	3,202	7.8	3,860	9.1	20.6
海外	4,818	11.7	4,678	11.1	△2.9
合計	41,200	100.0	42,228	100.0	2.5

ファンケル化粧品は、「エイジングケア 洗顔クリーム」、「洗顔パウダー」などのリニューアルや、ドラッグストア向けの卸販売の拡大、主力製品へのプロモーション効果などにより、国内売上は増収となったものの海外売上が減収となったことから、33,240百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

アテニア化粧品は、「スキんクリア クレンジング オイル」などの新製品効果に加え、ウェブを活用したコミュニケーション戦略によりお客様数が大幅に増加し、6,748百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は18,826百万円(前年同期比4.9%増)、店舗販売は14,862百万円(前年同期比2.4%減)、卸販売他は3,860百万円(前年同期比20.6%増)、海外は4,678百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、前年同期に対しマーケティング費用を増加させたことなどにより、営業利益は2,810百万円(前年同期比42.4%減)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は23,898百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

	平成28年3月期 前第3四半期連結累計期間		平成29年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	8,332	39.0	9,847	41.2	18.2
店舗販売	5,376	25.1	5,749	24.1	6.9
卸販売他	6,666	31.2	7,182	30.0	7.7
海外	1,008	4.7	1,119	4.7	11.0
合計	21,383	100.0	23,898	100.0	11.8

製品面では、プロモーションを展開した機能性表示食品「えんきん」、「カロリーミット」が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は9,847百万円(前年同期比18.2%増)、店舗販売は5,749百万円(前年同期比6.9%増)、卸販売他は7,182百万円(前年同期比7.7%増)、海外は1,119百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、前年同期に対しマーケティング費用を増加させたことなどにより、前年同期に比べて797百万円悪化し、1,476百万円の営業損失となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は5,547百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

	平成28年3月期 前第3四半期連結累計期間	平成29年3月期 当第3四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,982	1,902	△4.0
青汁	2,096	2,067	△1.4
その他	1,322	1,577	19.3
合計	5,401	5,547	2.7

営業損益

損益面では、増収となったことに加え、マーケティング費用の効率化に努めた結果、前年同期に比べて1,061百万円改善し、526百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて464百万円減少し、83,303百万円となりました。この要因は、流動資産の増加3,291百万円および固定資産の減少3,756百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加10,382百万円および受取手形及び売掛金の増加982百万円と、有価証券の減少8,006百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券の減少5,528百万円と、建物及び構築物の増加などによる有形固定資産の増加1,459百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,903百万円減少し、12,224百万円となりました。この要因は、流動負債の減少1,908百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、未払法人税等の減少495百万円、賞与引当金の減少519百万円および未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少830百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,438百万円増加し、71,078百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加4,001百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少2,889百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.1ポイント上昇し、84.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、平成28年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,034	28,417
受取手形及び売掛金	9,997	10,979
有価証券	8,006	-
商品及び製品	3,548	3,938
仕掛品	26	25
原材料及び貯蔵品	3,787	3,215
その他	2,969	3,099
貸倒引当金	△51	△67
流動資産合計	46,317	49,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,355	27,143
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,513	△14,477
建物及び構築物（純額）	10,841	12,666
機械装置及び運搬具	7,552	8,240
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,282	△6,315
機械装置及び運搬具（純額）	1,270	1,924
工具、器具及び備品	7,600	7,952
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,490	△6,670
工具、器具及び備品（純額）	1,109	1,281
土地	11,951	11,904
リース資産	386	405
減価償却累計額及び減損損失累計額	△227	△263
リース資産（純額）	158	142
その他	1,230	101
有形固定資産合計	26,562	28,022
無形固定資産		
その他	2,639	2,237
無形固定資産合計	2,639	2,237
投資その他の資産		
投資有価証券	5,656	128
その他	2,591	3,306
投資その他の資産合計	8,248	3,434
固定資産合計	37,449	33,693
資産合計	83,767	83,303



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,547	2,359
未払法人税等	898	402
賞与引当金	1,074	554
ポイント引当金	1,507	1,629
資産除去債務	-	3
その他	6,115	5,285
流動負債合計	12,143	10,234
固定負債		
退職給付に係る負債	1,324	1,316
資産除去債務	385	413
その他	274	260
固定負債合計	1,984	1,990
負債合計	14,128	12,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	50,134	51,197
自己株式	△3,706	△3,213
株主資本合計	68,930	70,485
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	146	△20
退職給付に係る調整累計額	△166	△162
その他の包括利益累計額合計	△20	△182
新株予約権	729	776
純資産合計	69,639	71,078
負債純資産合計	83,767	83,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	67,986	71,674
売上原価	19,977	21,381
売上総利益	48,008	50,292
販売費及び一般管理費	46,625	50,733
営業利益又は営業損失(△)	1,382	△440
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	0	0
受取賃貸料	78	78
雑収入	140	122
営業外収益合計	225	204
営業外費用		
固定資産賃貸費用	25	26
為替差損	28	43
雑損失	21	24
営業外費用合計	76	94
経常利益又は経常損失(△)	1,532	△331
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	1	36
投資有価証券売却益	-	4,440
匿名組合投資利益	36	-
特別利益合計	38	4,477
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	19	28
減損損失	-	64
店舗閉鎖損失	30	26
その他	12	1
特別損失合計	63	121
税金等調整前四半期純利益	1,508	4,024
法人税、住民税及び事業税	729	593
法人税等調整額	△142	△570
法人税等合計	587	23
四半期純利益	921	4,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	921	4,001

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	921	4,001
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4	△166
退職給付に係る調整額	△9	4
その他の包括利益合計	△14	△162
四半期包括利益	907	3,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	907	3,838
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	41,200	21,383	5,401	67,986	—	67,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	41,200	21,383	5,401	67,986	—	67,986
セグメント利益又は損失(△)	4,877	△678	△1,587	2,611	△1,228	1,382

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,228百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	42,228	23,898	5,547	71,674	—	71,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	42,228	23,898	5,547	71,674	—	71,674
セグメント利益又は損失(△)	2,810	△1,476	△526	807	△1,248	△440

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,248百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。